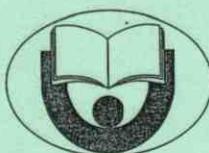


宇佐市民図書館だより



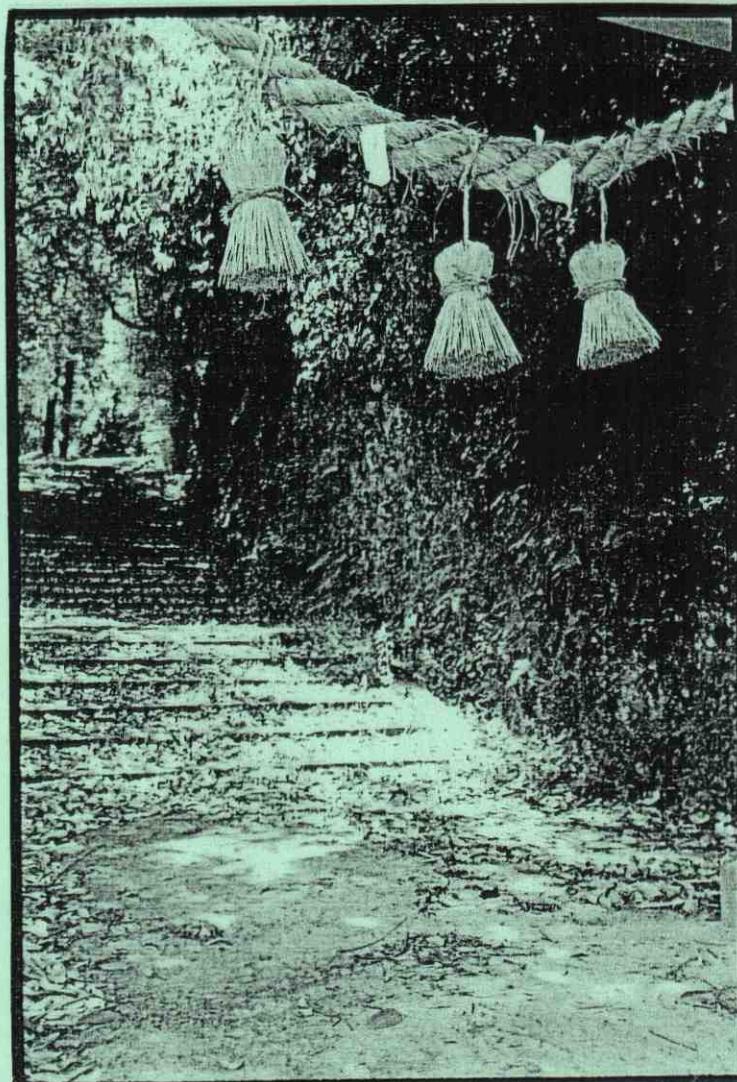
みんと

よむぞう

図書館の可能性

「図書館を図書を貸し出すだけの施設と受け止めている方も少なくないと思います。しかし、図書館は、もっと多様な可能性を持っているのです」(『これからの図書館像』より)▶実践例の一つ御幸町図書館に行った。静岡市に12ある分館の一つで「ビジネス支援」を目的とする。市民が無料で利用できる20の商用データベース、30台のパソコン。スキルアップのための、データベース利用講座もある。約400タイトルの雑誌等を用意(半分がビジネス関係)。男性の利用者が目につく。一日の入館者のうち、平均200人がビジネス情報を入手しているという▶同じ建物にある産学交流センターとも連携、中小企業診断士などの相談員が「図書館の資料を利用する方が適当」と紹介、その逆もある。それを支えるのは、大分県立図書館の4倍、中津市の8倍、宇佐市の40倍にあたる2億という資料費と、高い意識をもち「直営がいい」と市民に望まれる職員だ▶活発な支援の背景には、落ち込む地元経済がある。大企業との情報格差を埋める情報提供をすることで「格差是正」し、廃業・起業リスクを減らしたいという切実な思いがある。起業関連講座のアンケートでは「図書館の使い方を知っていたら、起業はもっと楽だった」という意見も少くない。ここには「本を借りるだけ」ではない、情報の活用がある▶「一次目的…市民の暮らしや仕事やまちづくりに役立ちます。二次目的…市民の暮らしや仕事やまちづくりに役立つ資料を集め、提供します」館内を巡ると「温泉が多い」「温暖」「住みやすい」など静岡市のPRもあった。「図書館にできることは」と思いつつ帰路についた。

- 「永井郁子・絵本の世界」を開催 (2)
- 子どもと本を結ぶ「ブックトーク」レポート (3)
- みんなびゅー51 『豊前善光寺史』の菅野さん兄弟 (4)(5)
- ギャラリー「横光利一と挿絵展」 (6)
- ご意見箱から (7)

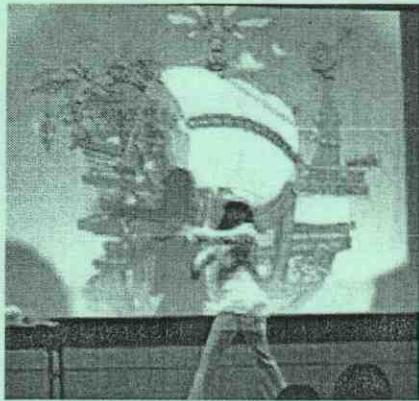


ふるさとを撮る2009
「守」池田隆正さん(35 photo club)の作品

暮らしや仕事に役立ちたい 宇佐市民図書館

「好き」を大切に 10月24日(土)開催 【永井郁子絵本の世界】

くもいと「読み書き方お今宇み『ドラゴンまる』でしが気ま佐語りとダンスのうで傷イ音にて市民図書館がだは入の図書館にで配付か良り中書館してなーけそ最下さるよーうタあー会場はもー敷ダにな」



絵本作家になる夢を実現するまでは「長いトンネルを歩いているような気分になる時もあるけど、その入り口を見つけることが大事」と夢を持つ大切さを語りかけました。

最後に『わかったさんのドーナツ』を読み語り。「小さい時読んだので嬉しい」「(子どもが)すごく喜んだ。楽しかった」とホールを出る時はみんな笑顔でした。宇佐市では数少ない作家さんとのふれあいが、心に種を蒔いてくれた一時でした。

思わず夢中になりました



2009・第63回
読書週間
10/27~11/9

豊岡教育次長のあいさつの後、まず最初に、図書館で募集したお手紙に丁寧にお返事をして下さいました。DVDを使った読み語り。自作の歌『ゆけ、どらごんまる』はノリの良い音楽で、全員夢中で振りを覚えました。ドラゴンまる内を見た後の○×クイズは本やグッズの豪華景品付き！で盛り上がり、「いっしょに絵をかこう！」のコーナーでは、「わかったさん」や「かいぞくポケット」の描き方をみんな真剣に習いました。



クイズに全問正解して
笑顔のゆめかちゃん
サインをもらつたよ！

ながいいく子さんへ

本物に勝るものは、ありません。子どもたちに広く親しまれている「わかったさん」「かいぞくポケット」などを手がけた方に直接お話を伺うことができたのは、本当に良い機会でした。読み聞かせを聞いた低学年の子どもたちは早速「永井郁子さん」とこをじて、世界のとりこになっていました。

感謝しています。

ながいいく子さんへ

ぼくたちのためにわざわざ長洲小に来てくれてありがとうございます。ドラゴンまるのお話はとってもおもしろかったです。絵もかわいかつたです。ダンスも楽しかつたです。また新しい本を作ってください。

3年1組 西岡光星

低学年へは読み聞かせ。高学年へは「夢をかなえるまで」というテーマで、つらさや挫折についてもこどもたちに率直に語りかけました。

**キャリア教育でこどもと
ふれあい in長洲小**

- 1. ミケ 2. 学習漫画世界の伝記
- 3. ポケモンをさがせ！ 3. かいつけ
- 4. 10ぴきのかえる 5. もつたい
- 5. 学校の怪談
- 6. ティラノサウルス 7. ウォーリー
- 8. 仮面ライダー龍騎ひみつ
- 9. ピーマンマン
- 10. 【その他】(シリーズ名など)

- 1. ポケモン絵本 2. 德間アニメ
- 3. まじめにふまじめかいけつゾロリなぞのお宝大ざくせん
- 4. 10ぴきのかえる 5. もつたい
- 5. ティモシーとティモシー
- 6. ランチ
- 7. おとうさんはウルトラマン
- 8. しゅくだい
- 9. バムとケロ
- 10. ピーマンマン

- 1. かいつけゾロリ 2. 怪談レストラ
- 3. うれしい一日になる日本のわらい話 3. こまつたさん 5. デイズ
- 4. 10ぴきのかえる 5. もつたい
- 5. ティモシーとティモシー
- 6. いたずらまじよ
- 7. 吉四六さん 7. きょうりゅう
- 8. うが図書館にやつてきた 7. ゲハゲ
- 9. ハヤカニなわらい話 7. 日本むかしばなし

こどもスペースだより
123

読書の秋。特設展示は「仕事の本・伝記の本」。絵本展示は「ベストリーダー10(移動図書館)」です。

【読み物】(シリーズ名など)

【動物園にいこう!】

- ・『はらぺこぶんた』
- ・『どうぶつえんのたんけん』
- ・『サバンナに生きる』
- ・『どうぶつの口』
- ・『どうぶつの
あしがたずかん』
- ・『ほんとのおおきさ
動物園』
- ・『たのしいな
サファリバス』

高学年への難しい内容を含んだものでした。終了後すぐに「読みたい」と声が上がり、団体貸出を使って1ヶ月クラスへ貸出しました。

【平和な世界にむけて】

- ・『ああ保戸島国民学校』
- ・『15年めのおくりもの』
- ・『小型武器よさらば』
- ・『シェラレオネ』
- ・『国境なき医師団とは』
- ・『ノーベル賞100年のあゆみノーベル平和賞』
- ・『ぼくらの心は国境を越えた』
- ・『平和の種をまく』

読書週間が始まる10月27日(火)宇佐小6年生【平和な世界にむけて】というブックトークを行いました。

子どもと本を結ぶ
ブックトークレポート

読書の秋・

「アフリカンサファリに行く前に」
と9月29日(火)に高家小1・2年生に行つた【動物園にいこう!】は、TOSの「ほっとはーとOITA」に紹介されました。高家小の子どもたちの活発で本好きな様子は、番組編成を変えて長めに紹介された程でした。「本と同じだったよ!」かわいいお手紙もいただきました。



http://www.pref.oita.jp/10400/pr_news/tos/index.htmlで動画配信中

11月21日(土)県立図書館で行われる読書推進フォーラムの分科会でもブックトークが取り上げられます。

県立図書館や他の市町村図書館から借受たい資料がある場合は、早めにお申し込み下さい。また、現在借受中の方はお早めにご返却下さい。返却期限を1ヶ月過ぎますと宇佐市民図書館への貸出が停止します。市民図書館への貸出が停止になります。市民・県民の財産ですので、大切にお取り扱い下さい。

蔵書点検などで県立図書館が休館している間は、蔵書検索などできません。他の市町村との相互貸借も全てストップします。

県立図書館や他の市町村図書館から借受たい資料がある場合は、早めにお申し込み下さい。また、現在借受中の方はお早めにご返却下さい。返却期限を1ヶ月過ぎますと宇佐市民図書館への貸出が停止します。市民図書館への貸出が停止になります。市民・県民の財産ですので、大切にお取り扱い下さい。

賀来惟熊は四人の息子たちと大砲鑄造事業に取り組んだ。

賀来佐之は惟熊のいと・島原藩医で長崎遊学中にシーボルトからその才能を高く評価された。

賀来飛霞は佐之の弟、幕末の三大本草学者のひとり。

関連資料のなかでも特に、賀来飛霞が描いた精緻で色彩豊かな植物の写生図が数多く収録されていて、堪能できる。

賀来一族の「近代化」は、日本や中国の知識や技術の基礎の上に、西洋の学問を摂取・融合することにより、「不可能を可能にする」と解説している。

巻末に、惟熊の娘婿にあたる水路技術者・南一郎平の資料も収録。家族と撮った珍しい記念写真や広瀬井路の絵図(写本)、明治初期の履歴書(写本)など

県立図書館が
11月24日～12月4日まで
休館します

地球温暖化防止に対するみなさんの意識をもりあげようと、ストップ地球温暖化宇佐協議会では、この夏、家庭で一斉に消灯してもらう「キャンドルナイト」と窓際に植物を這わせて涼風をよぶ「緑のカーテン設置」を呼びかけました。ご協力いただいた成果の写真展を開催しました。

10月2日～28日

「緑のカーテン」写真展を開催

ストップ地球温暖化!

郷土スペース通信二七

『おおいた発! 幕末文化維新
—賀来家・華麗なる一族—』

大分県立歴史博物館、平成二十一年度年度特別展の展示図録。開催期間は十月十六日から十一月二十九日まで。

豊後武士団の名門、大神氏の流れをくむ賀来一族、そのなかから、賀来惟熊(これたけ)、賀来佐之(すけゆき)、賀来飛霞(ひか)を特集。

足かけ六年かけて

私たちの父、五十六世・戒譽が、戦後、小野龍胆先生に「芝原善光寺史」(本書「資料編に収録」)をまとめてもらっていたり、先代本人も歴代の住職や寺史をまとめたいと考えていたようです。一九八五年に八十歳で亡くなるまでに善光寺の歴史について書かれた父のノートが七冊残されていました。

そこで、一人では出来ないかもしれませんのが、兄弟で力を合わせれば、父の遺志を継承できるのではないかと思、足かけ六年をかけて、このたびようやく本が完成しました。「豊前善光寺史」という本のタイトルの文字は、父のノートの表紙からそのまま用いました。執筆や調査にあたっては、

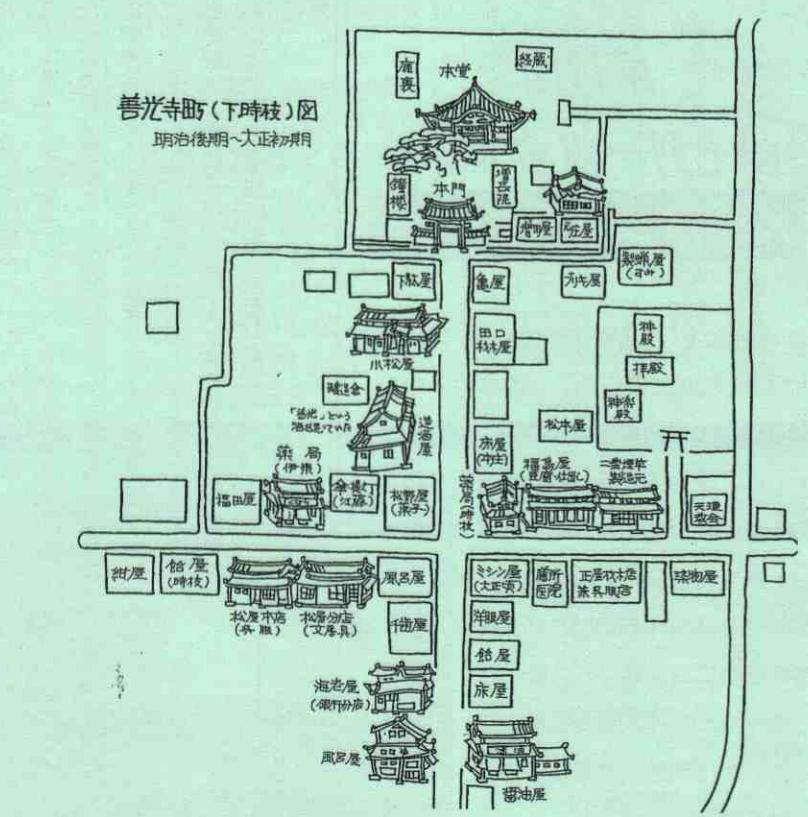
空也上人が如来を安置するお堂を建てようとしたところ、川部の酒井某が夢みて、川辺に出てみると、大きな材木が川上に上っている。引き揚げてみると「善光寺」の文字が、光を放つていたので、さっそくこれを献納し、本堂の棟木とした、といふものです。

子供会と立体地図作成

二十年も前になりますが、子供会の協力で作成した、かつての門前町を再現した立体地図も掲載しました。当時、話を聞かせてくださった方々の多くはすでになくなり、今にして思えば大変貴重な資料になりました。

蓑虫山人の絵に登場

「旧本堂、方丈、庫裡の間取り」(P355)に描かれている、本堂につながる庫裡が、蓑虫山人の絵になりました。



「善光寺町(下時枝)図」明治後期～大正初期
『豊前善光寺史』(P159)より

「善光」という酒をつくっていた酒屋、「二豊」という煙草をつくっていた煙草屋、宇佐餡と同じ餡を売っていた「餡屋」、病院。風呂屋は二軒ありました。薬屋の「万屋」(よろずや)、菓子屋の「松野屋」、呉服・文房具の「松屋」など、店にはそれぞれ屋号がついていて、人々はその屋号で呼んで親しんでいました。嫁入り道具が全部揃うといわれるほど多彩な商店街が形成されていたのです。

門前町が栄えたのは、明治後期から大正のころまでです。それ以前のこの土地には、塔頭(たつちゆう)、いわゆる末寺(參詣者の宿坊)の廃寺跡が広がっていたことが「境内図」(P354)と比べることで分かります。私たちが子どものころから「テング松」と呼んでいた松が、正しくは「天宮松」だったということも、この「境内図」を見て知りました。

七冊のノートに励まされ

父が五十六世、当代で五十七世といいますが、真宗などとことなり、十五回忌にあたるので、いい機会に禅宗や浄土宗は弟子が継ぐのが普通なので、実子が継ぐのは、善光寺では珍しいことです。

この九月十二日がちょうど父の二十五回忌にあたるので、いい機会に寺史刊行の報告ができると、喜んでいます。常に七冊のノートを手元に置いて書いてきたせいか、いつも父から「がんばれよ」と励まされているような気がしていませんでした。こうして無事に出版できたのも、父のおかげと思つております。

父の遺志をついで

『豊前善光寺史』をまとめた菅野俊光さん・菅野隆光さん兄弟

先代の遺志を受け継ぎ、9月に『豊前善光寺史』を刊行した菅野俊光さん(善光寺57世)と弟の菅野隆光さんご兄弟に、宇佐市民図書館でききました(9月8日)。

本書を書くにあたって心がけたことは、堅苦しくない、読みやすい寺院史にしたいということでした。ところどころにコラムを設け、エピソードや関連人物を紹介したのも、そんな意図からです。空也上人が宇佐神宮からの帰り道に道案内をしたと伝えられる「百合畑」という地名が、現在でも市内四日市(字中嶋)に残っています。そこはいまでもぼつんと善光寺の所有地になつてい



菅野俊光さん(左)・隆光さん(右)兄弟=9月8日、宇佐市民図書館で

先哲史料館の加藤泰信先生や宇佐市民図書館の乙咩政己館長に、大変お世話になりました。吉との交流について、また、「梵天山」の山額を揮毫した廣寿法雲は、宮本武蔵筆の達磨絵に賛を添えた人物であることなどを紹介しました。

コラム設け、読みやすく

記録によると善光寺は、空也上人が九五八年に開山したということになっています。しかし、そこから一五五〇年代までの約六〇〇年間にちは確かな記録がありません。ただ、一六六五年に時宗から淨土宗に転じた覚譽以降の住職は確実にたどることができます。近世以降の歴史はかなり詳細にまとめることができます。

酒井一族との深い縁

一方、空也上人の時代から現在まで、おそらく千年以上も前から行われている「川部年始」という行事も続いています。毎年二月十三日、善光寺住職の答礼の行事ですが、交代でそのお世話をしてくださいるのが、川部の酒井家ののみなさんです。善光寺と酒井家は、旦那寺と檀家の関係ではありません。にもかかわらず、このような関係がはじまつたきっかけ

で、おそらく千年以上も前から行われている「川部年始」という行事も続いています。毎年二月十三日、善光寺住職の答礼の行事ですが、交代でそのお世話をしてくださいのが、川部の酒井家ののみなさんです。善光寺と酒井家は、旦那寺と檀家の関係ではありません。にもかかわらず、このように関係がはじまつたきっかけ

渡 綱 記 念 ギ ャ ラ リ ト

「横光利一と挿絵」展開催中!

10月24日(土)～12月27日(日)

画家・岩尾善幸さん(臼杵市在住)の原画
「機械」「春は馬車に乗って」の挿絵を紹介!

■昨年10月から今年4月にかけて、「大分合同新聞」(夕刊)の「名作を読む」に横光利一の代表作「機械」と「春は馬車に乗って」が連載されました。その折に挿絵を担当した画家の岩尾善幸さん(臼杵市在住)のご厚意で、挿絵の原画をお借りすることができました。そこで今回は、かつて横光利一の小説に挿絵を担当したことのある画家たち藤田嗣治、朝倉探(以上『旅愁』)、佐野繁次郎(『春蘭』)の紹介とあわせ、挿絵特集を企画しました。



第11回 横光利一俳句大会 入賞作品集さしあげます

毎年恒例の「横光利一俳句大会」は、今年で11回目を迎えました。全国や海外から、8743句ものご応募をいただき、10月31日(土)に、表彰式が行われました。50名以上の入賞者をはじめとするお客様で満席の会場は、熱気に包まれていました。選者の倉田紘文先生からユーモア溢れる講評があり、みんな熱心に耳を傾けていました。

今回作成した『入賞作品集』を、ご希望の方にさしあげます。ご希望の方は、職員にお知らせください。

なお、上位入賞作品を、エントランス・ホール(玄関)に展示しています。

例えば「三大」・三大閻魔、三大家、三大奇祭、三大農学者。東海道五十三次の名前、源氏五十四帖、孔子の七十二人の弟子、八十八箇所の札所など、一々八万四千までの数をつかった事象が、時には名前を挙げて説明されています。柳ヶ浦の東光寺にもある五百羅漢ですが、その由来は釈迦の500人の弟子たちです。入滅後に集まつたとされており、様々なことを話しあつたと言われています。禅宗では特に重視され、十六羅漢や五百羅漢の絵や像が残されています。

この500人の羅漢全ての名前が『日本名数辞典』には5ページにわたって載っています。「第一阿若橋陳如・第一阿泥樓・第三有賢無垢」など。読み仮名がないのが少し残念です。

知ると楽しい図書館のミカタ
五百羅漢の名前

ヤングコーナーレビュー 63

◆◆新着本から◆◆

『レディ・ガンナーと虹色の羽』

茅田 砂胡 著

『日本名数辞典』(東京堂出版)には、通常は巻末に付録として記載されていることが多かった数に関する事項をまとめて1冊にしています。

久方ぶりに故郷へ帰ったベラフォードは、幼い頃に亡くなつた母親の出身種族“南天極樂鳥”的使者から20年に一度の大祭に参加してもらいたいという怪しい申し出を受けた。いぶかりながらも旅立つた彼だったが、かの地で出会つた想像を超える奇妙な事態に…。

『バターサンドの夜』

河合一湖 著

コスプレ衣装に憧れ、懸命に自分の居場所を見つけようとする中学生の明音に、モデルの誘いの声がかかる。自分ってなに?自分のことを本当にわかってくれる人っていらないの?。

◆◆その他の新着本◆◆

「編み犬といっしょ!ちいさな犬のセーターとグッズ」「うにつきgirls are made of sugar, spice and all」「オデットと秘密の鍵」「言葉は呪縛する」「しばわんこ和のお道具箱」「世界の終末」「魔法の雪薔薇の雪」「ヤングアダルトの本1、2、3」「ファースト・キス・コレクション」

11月のミニ展示

東側(一番奥の〇の書架)から順番に紹介しています

- (通路側)
- ・本を読もう!
 - ・禅のこころ
 - ・昭和をふりかえる
 - ・地図を歩く
 - ・裁判に関わる人々
 - ・おいしいお昼の友の作り方
 - ・サカナと暮らす
 - ・鳥のいる風景
 - ・食と健康
 - ・群像 日本の作家
 - ・源氏物語
 - ・猫のいる物語
 - ・栗本薰
 - ・隠れた歴史人物を照らす 中村彰彦
 - ・南伸坊

- (窓側)
- ・人と思想
 - ・米欧回覧実記に挑戦
 - ・日本古代史
 - ・実業家
 - ・アジアの国々
 - ・保険を知る
 - ・大人のマナー
 - ・遺伝子
 - ・ハングル語
 - ・俵万智
 - ・街道をゆく
 - ・カズオ・イシグロ
 - ・真保裕一
 - ・たまにはこんな日もあるさ
 - ・山口瞳

満足度調査のご意見から

- ◆「カウンターで」とある雑誌のバックナンバーを、雑誌架に置いてほしい。

図書館から

るものを見借りるのに、少し遠慮しています。なぜ、だしていいのでしょうか。

開架の雑誌は遠慮せずに力カウンターまで申し出を

◆雑誌コーナーの「カウンターで」という表示を見て、とても残念だし、少し面倒で、一度もカウントで借りたことがありません。マナー違反の人がいて、結果、こうなったのでしょうか。少し残念です。書庫に入っています。

新刊雑誌は、次の号が排架されるまで貸し出しができません。このたまにはこんな日もあるさ

ることで、興味のある記事や写真などが切り取られています。特に、雑誌コーナーの「カウンターで」と表示している新刊雑誌は、ほぼ毎号切り取りが認められたため、防止策の一環として、貸出カウ

ンターの裏側に置いています。館内で見たい時は、必ず表示板と資料貸出券を持参し、貸出カウンターの職員にお渡しいただければ、館内で閲覧できます。

ご指摘のように「カウンターで」とある雑誌で、バックナンバーを閉架に置いているものがあります。このような雑誌は、雑誌架に戻して貸出可能な状態にしても、依然として館内での切り取りが続発するため、管理上やむを得ず閉架に置いています。

閉架の雑誌を借りたい場合は、貸出カウンターの職員に直接口頭で伝えなければ、貸し出しができませんので、遠慮せずに申し出てください。

十月の特集展示

【一般】

暮らしの本」「村上春樹著作特集」「知りたい山登りの知識」「幕末の空気を知る本」「秋の写真を撮ろう」「読み聞かせ入門講座」「読書週間ベストリーダー紹介」

【ヤング】
「今日、何食べる?」
【こども】
「風邪予防 食育・うがい」「ベストリーダー10」

安心院分館十一月のミニ展示

「時代小説」

寄贈していただいた方
(九月末現在・敬称略)

坂本佳友、二野宮昭、(特定)医療ビジランスセンター、瀧上ミハル、(株)アイアールディ企画、中津地方文化研究所、永岡恵一郎、(株)学習研究社、乙咩優美子、SARA、(株)弘久社、池田陽子、(公)大分県立芸術文化短期大学

ありがとうございました。



11月の宇佐市民図書館 本館

1	日	映画「あかね空」(日) 14:00~16:00
2	月	休館日
3	火	
4	水	ほんの森号 ①北馬城小②宇佐小③渚団地
5	木	おはなし会「むくむく」 11:00~11:30 ほんの森号 ①西馬城小 ②高家小 ③貴船団地
6	金	ほんの森号 ①横山小 ②八幡小
7	土	アニメ「すてきな三にんぐみ」全4話 14:00~14:30
8	日	映画「嵐が丘」(イギリス) 14:00~15:46
9	月	休館日
10	火	古文書を読む会 近世文書 14:00~15:30 (研修室) ほんの森号 ①封戸小 ②和間小③長洲公民館
11	水	ほんの森号 ①糸口小 ②豊川小 ③四日市コミュニティ 県立図書館
12	木	おはなし会「おはなしあのね」 11:00~11:30 ほんの夢号 ①佐田小 ②津房小
13	金	県立図書館主催・よみかせ講習会 14:00~ ほんの夢号 ①南院内小 月俣公民館 ②院内中部小
14	土	おはなし会「図書館職員」 11:00~11:30 アニメ「小さなバイキングピッケ」3 14:00~15:40
15	日	映画「駅」(NHKアーカイブス) 14:00~15:00
16	月	休館日
17	火	ほんの夢号 ①安心院小 ②院内北部小
18	水	ほんの夢号 ①福貴野分校 ②深見小 県立図書館
19	木	おはなし会「おはなしあのね」 11:00~11:30 ほんの森号 ①天津小 ②長峰小 ③小峰団地
20	金	ほんの森号 ①北馬城小②宇佐小③渚団地
21	土	アニメ「ななつの水晶球」 14:00~14:43
22	日	映画「星に想いを」(ア) 14:00~15:36
23	月	休館日
24	火	休館日(振替休館日)
25	水	古文書を読む会 中世文書 14:00~15:30 (研修室) ほんの森号 ①西馬城小 ②高家小 ③貴船団地
26	木	休館日(月末図書整理日・毎月最終木曜日)
27	金	おはなし会「もういいかい」 11:00~11:30 ほんの森号 ①横山小 ②八幡小
28	土	アニメ「おじやる丸」10 14:00~15:00 続・横光利一を読む会 14:00~16:00 (研修室)
29	日	映画「羅生門」(日) 14:00~15:28
30	月	休館日

おはなし会

ほんの森号の時間帯

①10:20~11:00 ②13:00~13:40 ③15:20~16:00

ほんの夢号の時間帯

①10:20~10:50 ②11:10~11:40 ③13:00~13:40

- 11月5日(木) 図書館ボランティア「むくむく」
- 11月12日(木) 図書館ボランティア「おはなしあのね」
- 11月14日(土) 図書館職員
- 11月19日(木) 図書館ボランティア「おはなしあのね」
- 11月27日(金) 図書館ボランティア「もういいかい」
- いずれも 11:00~11:30 おはなしのへや

渡綱記念ギャラリー

「横光利一と挿絵展」
開催中~ 12月27日(日)

講座案内

(参加は自由です。無料。2階・研修室)

古文書を読む会

★近世文書「辻田屋 城家文書」
11月10日(火)

★中世文書「永弘文書」
11月25日(水)

*いずれも14:00~15:30

続・横光利一を読む会

「旅愁」を読む121

11月28日(土) 14:00~16:00

上映会

上映は14:00からです。

1階・視聴覚ホールでビデオやDVDなどを
使って上映しています(無料)

◆子ども向け(アニメ)

11/7(土)「すてきな三にんぐみ」全4話 30分

11/14(土)「小さなバイキングピッケ」3

100分

11/21(土)「ななつの水晶球」43分

11/28(土)「おじやる丸」10 60分

◆一般向け(映画)

11/1(日)「あかね空」(日) 120分 2006年

監督:浜本正機

出演:内野聖陽、中谷美紀

11/8(日)「嵐が丘」(イギリス) 106分 1992年

監督:ピーター・コスミンスキ

出演:ジュリエット・ビノシュ、レイフ・ファインズ

11/15(日)「駅」(NHKアーカイブス) 60分 1965年

製作・著作:NHK

出演:宮口精二、村瀬幸子

11/22(日)「星に想いを」(ア) 96分 1994年

監督:フレッド・スケビッシュ

出演:メグ・ライアン、ティム・ヒンツ

11/29(日)「羅生門」(日) 88分 1950年

監督:黒澤 明 特典映像89分

出演:三船敏郎、京 マチ子